

Windows Vista Office 2007

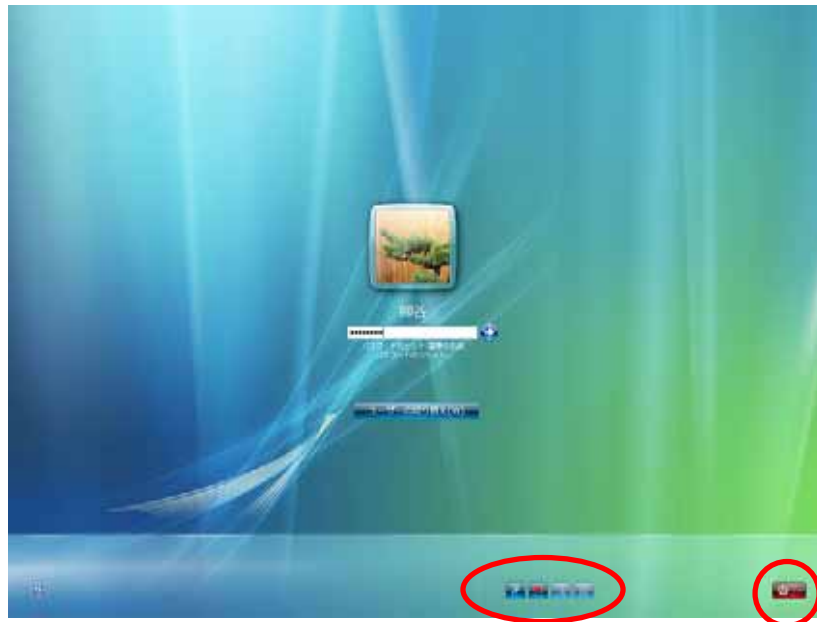
最新情報こっそり教えます

第37回 市民パソコン講座 2007.7.8

Windows VistaとWindows XPの比較

ログオン画面

Windows起動時に表示されるログオン画面。Vistaでは全体的なデザインが洗練され、大きなアイコンが表示されるようになった。ログオンや終了オプションの使い方自体はXPと同じだが、「終了」ボタンは右下に、また新たに「コンピュータの簡単操作」ボタンが配置され、拡大鏡や音声合成読み上げ機能が利用可能になった。



デスクトップ

Windows Aeroのおかげで見栄えがよくなったVistaのデスクトップ。スタートボタンから操作を始めるというコンセプトは以前と同じだが、サイドバー・ガジェットが存在はXPとの大きな違い。テーマカラーが青から黒に変わったことも見た目の印象に大きな影響を与えている。



注意: Windows AeroはWindows Vistaのエディションのうち“Home Basic”では利用できず、“Home Premium”または“Business”より上位のエディションの機能となっている。

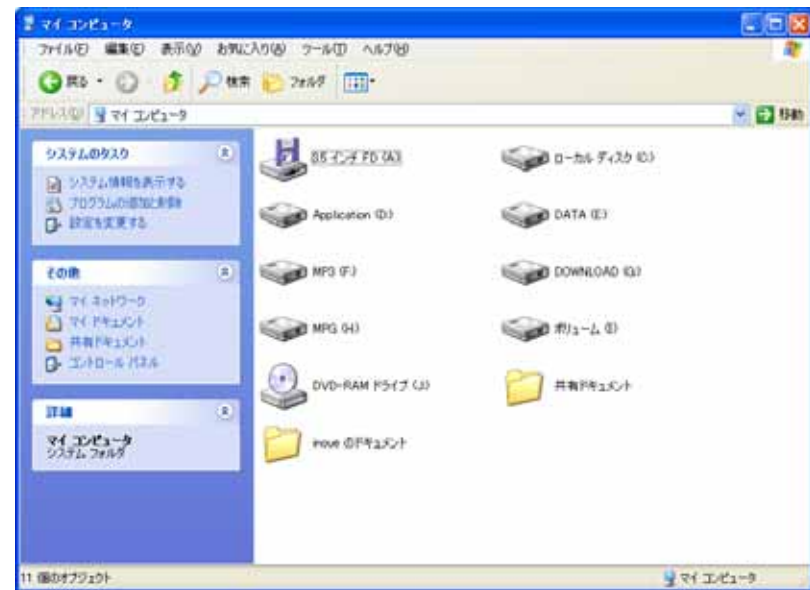
スタートメニュー

Windows 95以来続いた四角いスタートボタンが丸くなり、プログラムメニューの表示方法が従来の展開型から、スタートメニュー内でのツリー表示へと変更された。たくさんのプログラムがインストールされている場合でもマウスを動かす距離が小さくてすみ、プログラムを見つけやすくなった。



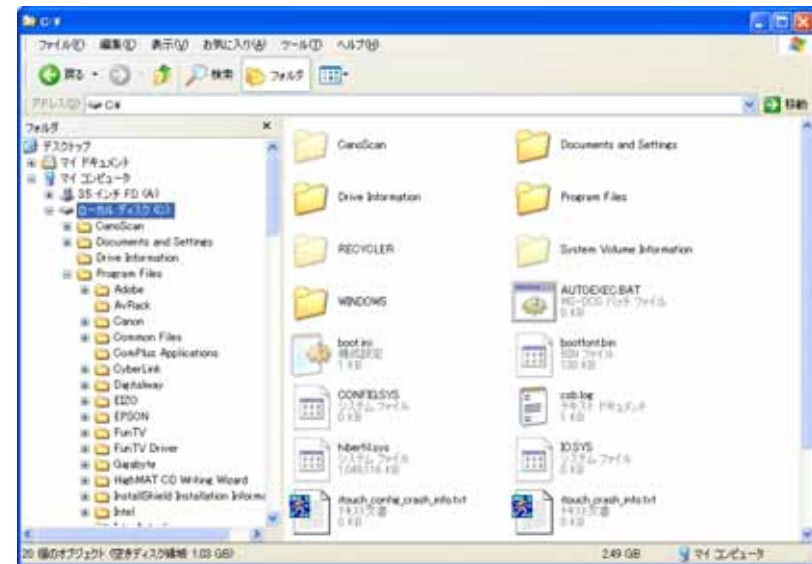
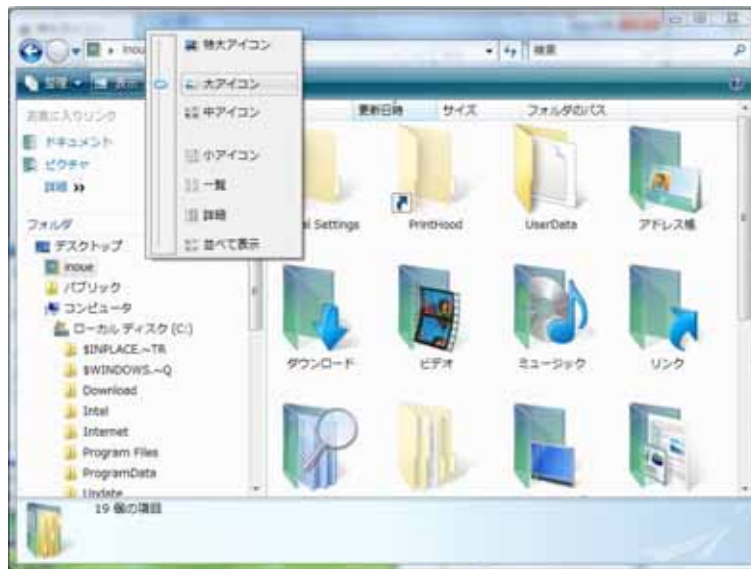
マイコンピュータ

ウィンドウ表示は一層グラフィカルになり、従来のタスク系のメニューは上部に移動。左側にリンクが、下部にプロパティが表示されるようになった。フォルダ内やデスクトップ上のアイコンもグラフィカルで大きめのデザインへと変更され、そのアイコンが何を表わしているのかが分かりやすく、クリック操作もしやすくなっている。



フォルダビューとライブアイコン

大きめのアイコンを使うとファイルの内容がサムネイル表示される。アイコンの大きさはスライダーによって無段階調整が可能で、データの整理やファイルの確認がしやすくなった(ライブアイコン)。



コントロールパネル

Windows Vistaのコントロールパネルは各項目の下にサブ項目が表示され、どこでどの設定をするのかが分かりやすくなった。XPと同じクラシック表示にすることも可能。







コントロールパネルのカテゴリー

システム系は「システムとメンテナンス」となり(XPではパフォーマンスとメンテナンス)、サブカテゴリーを表示すると左側のメニューに親階層が表示され、別のカテゴリーを選択しやすくなった。







Windows Vistaのエディションの違い

より使いやすく便利に

区分	Windows Vistaの主な機能	 Home Basic	 Home Premium	 Business	 Ultimate
		家庭でシンプルに利用したい方に	家庭で利用したい全ての方に	仕事で利用したい方に	家庭でも仕事でも利用したい方に
		基本機能のみを搭載	Windows Aeroなど魅力あふれる機能を搭載	ビジネスに求められるさまざまな機能を搭載	あらゆるニーズに応える全ての機能を搭載
より使いやすく便利に	強化された検索機能				
	Windows Aero				
	Windows フリップ 3D				
	Windows フォト ギャラリー				
	Windows サイドバー				
	Windows 転送ツール				
	インターネットエクスプローラ 7				

セキュリティ機能の強化

区分	Windows Vistaの主な機能	 Home Basic	 Home Premium	 Business	 Ultimate
		家庭でシンプルに利用したい方に	家庭で利用したい全ての方に	仕事で利用したい方に	家庭でも仕事でも利用したい方に
		基本機能のみを搭載	Windows Aeroなど魅力あふれる機能を搭載	ビジネスに求められるさまざまな機能を搭載	あらゆるニーズに応える全ての機能を搭載
セキュリティ機能の強化	保護者による制限				
	Windows Defender				
	バックアップと復元				
	シャドウコピー				
	暗号化システム				
	Windows BitLocker ドライブ暗号化				

マルチメディアの機能強化

区分	Windows Vistaの主な機能	 Home Basic	 Home Premium	 Business	 Ultimate
		家庭でシンプルに利用したい方に	家庭で利用したい全ての方に	仕事で利用したい方に	家庭でも仕事でも利用したい方に
		基本機能のみを搭載	Windows Aeroなど魅力あふれる機能を搭載	ビジネスに求められるさまざまな機能を搭載	あらゆるニーズに応える全ての機能を搭載
マルチメディアの機能強化	Windows Media Center				
	Windowsムービーメーカー HD				
	Windows DVDメーカー				

各エディションの価格は以下の通り。(2007.7.6 価格.comの最安値)

Windows Vista Home Basic :21,647円

Windows Vista Home Premium :24,465円

Windows Vista Home Business :31,280円

Windows Vista Home Ultimate :39,000円

約3000円の違いしかありませんが、機能には大きな差があります。

よほど安くない限り、Home Basic単体や搭載PCの購入はお勧めできません。

見た目も操作も大きく改良されたデスクトップ

Windows Aero(エアロ)

半透明処理や3D効果を使った新しいユーザーインターフェースのことで、ウィンドウやスタートメニューの枠、タスクバーなどが半透明になっていて、後ろのデスクトップの内容が透けて見える。「半透明や3D効果を使うと何か良いことあるの?」という疑問が起きるかも知れないが、隠れたウインドウの様子も何となく分かるので、複数のウインドウを切り替えて作業する場合などは、効率的に作業できる。



デスクトップが「Windows Vistaベーシック」の状態。Windows Aeroはオフになっているのでウインドウの枠などは不透明のまま。「Windows フリップ3D」も使えない。



デスクトップが「Windows Vista Aero」になった状態。ウインドウやスタートメニューの枠などが半透明なのが分かる。「Windows フリップ3D」も使える。

フリップ3D

「フリップ3D」とは、開いているウィンドウを縮小した3D画像で一覧表示する機能。よく雑誌やWebなどでWindows Aeroを代表する機能として紹介されているものだ。



ウィンドウを大量に開いている時、その中から目当てのウィンドウを探すのに役立つ。

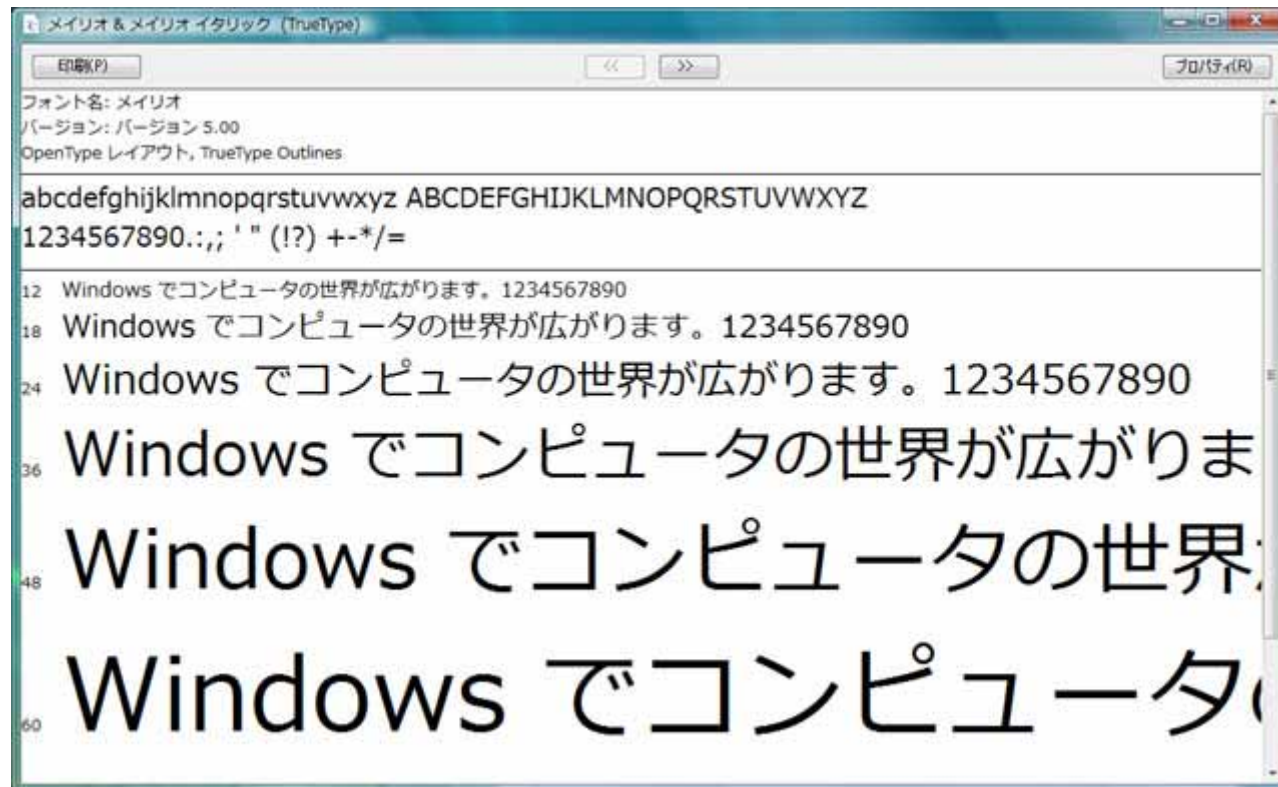
サイドバーとガジェット

Windows サイドバーは、Windows Vista デスクトップの片側に表示されるウィンドウで、ガジェットを管理して、いつでも使用できるようにすることができる。ガジェットはさまざまな用途に使用できる小さなアプリケーションで、Web サービスに接続して、天気予報、最新ニュース、交通情報などを配信できる。



ClearTypeフォント「メイリオ」

Windows VistaではClearTypeフォント「メイリオ」が採用されている。10ポイント以下の小さな文字は読みやすくなる。



見た目も使い勝手も一新したInternet Explorer7

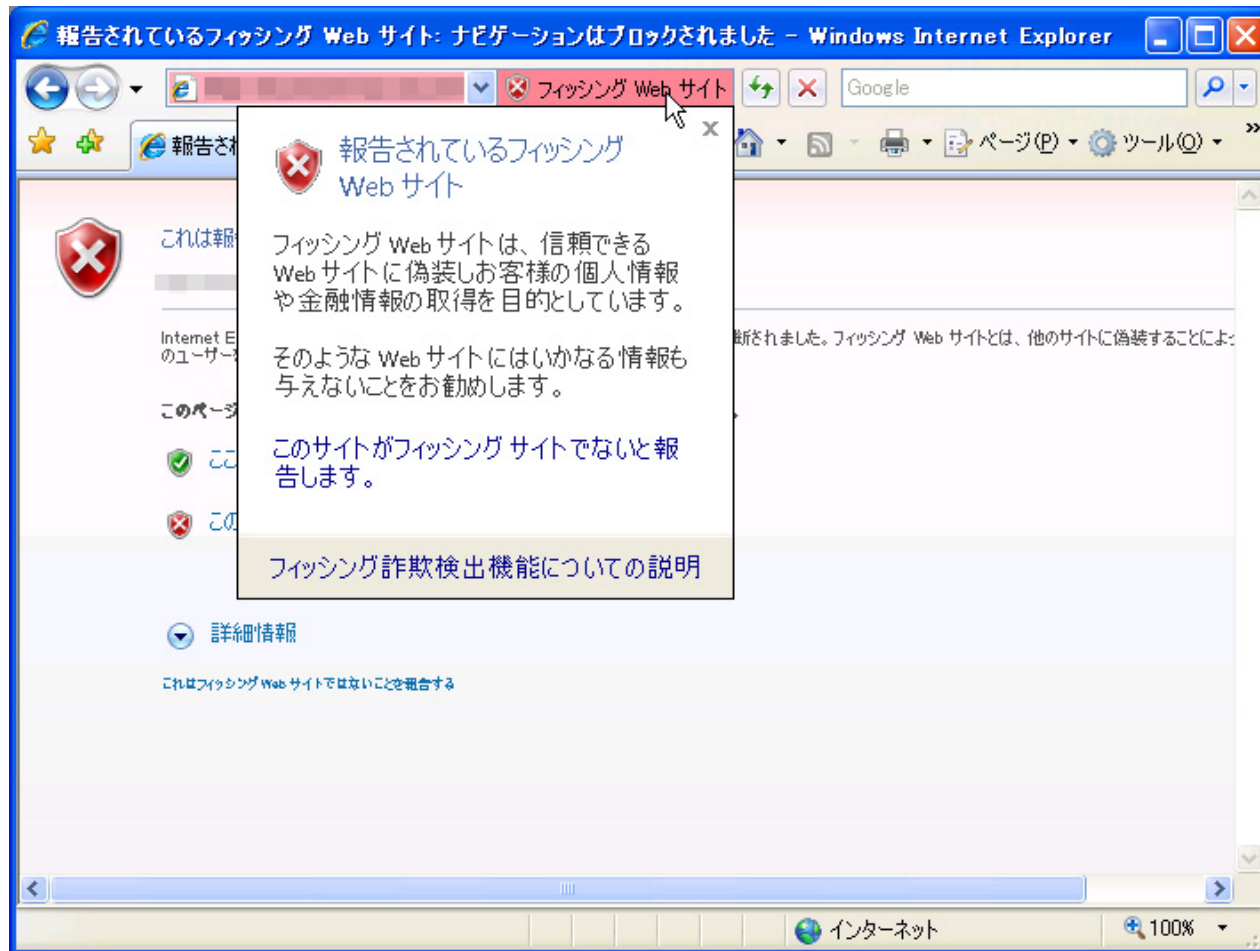
タブブラウジング機能を実装

IE7の最大の特徴は、タブブラウジング機能を搭載した点だ。これまでのIEはWebページごとにウィンドウを表示する仕様だったので、複数のページを同時に閲覧しづらかった。しかし、タブブラウザは、一つのウィンドウの中で複数のページをタブで切り換えながら閲覧する仕組みなので、デスクトップを有効に利用できる。



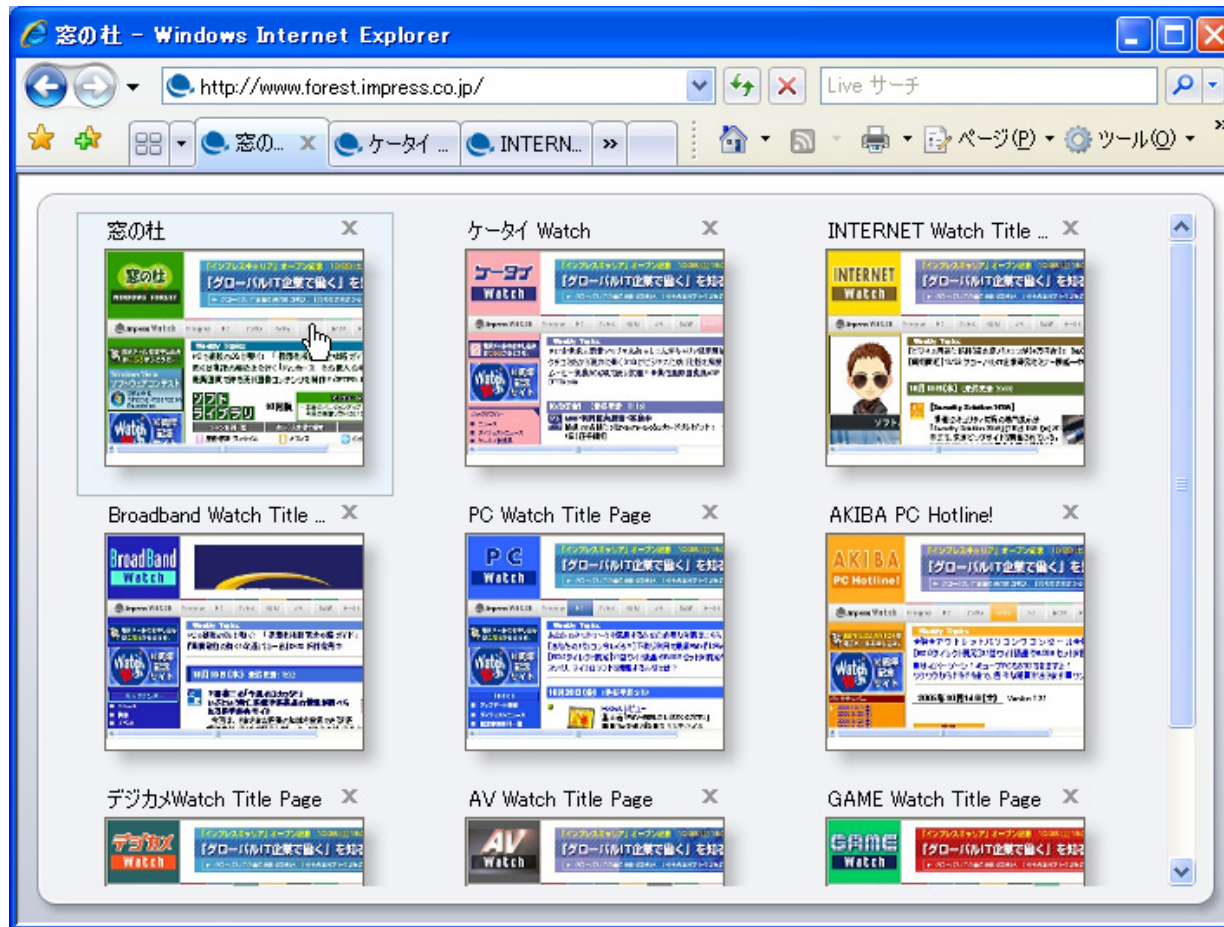
フィッシング詐欺対策も万全

フィッシング詐欺の可能性のあるサイトにアクセスすると、アドレスバーがピンク色で表示され、メッセージが表示されてアクセスが遮断される。



タブをサムネイル表示

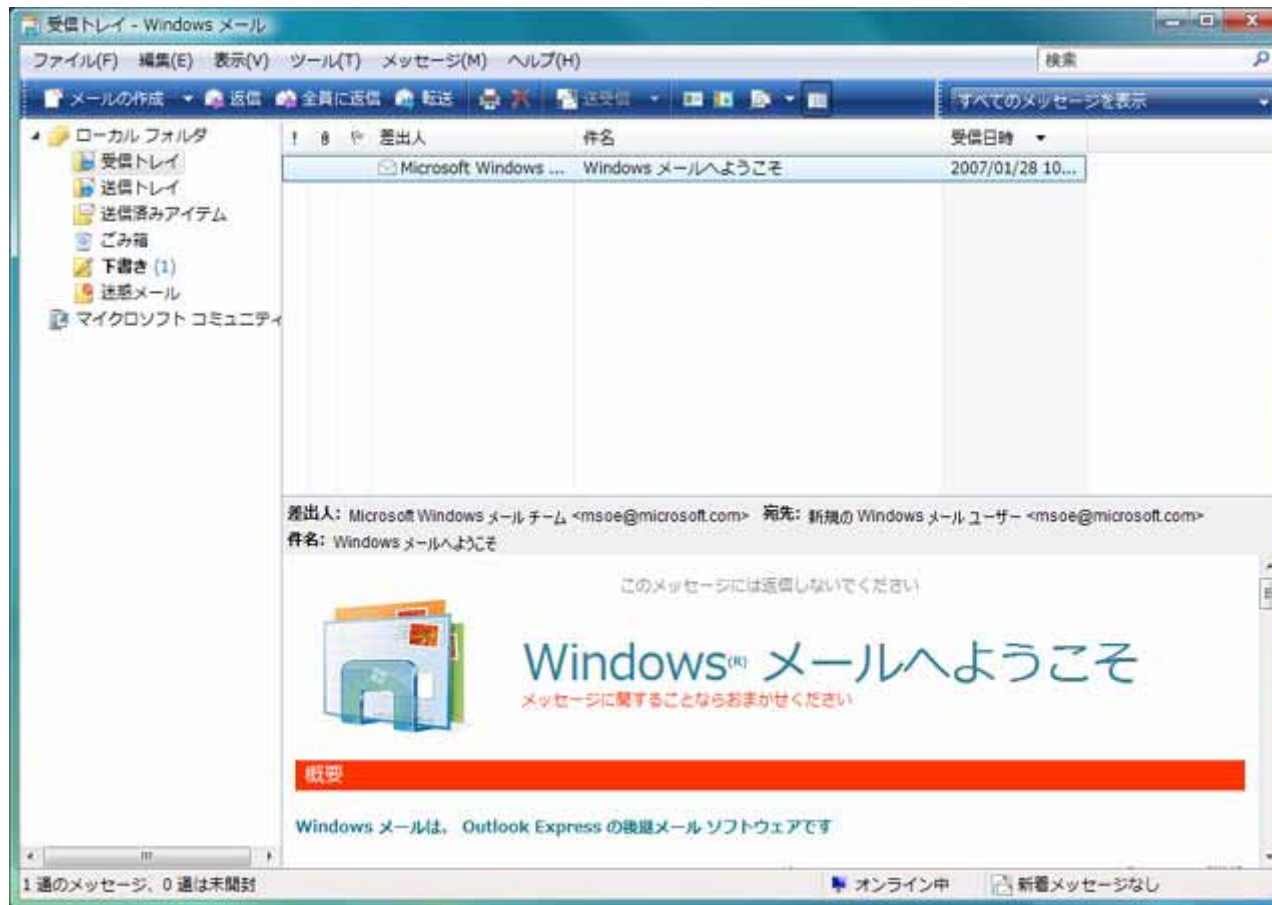
タブの左端にあるアイコンをクリックすると、現在タブで開いているサイトをサムネイルで一覧できる。たくさんのサイトを切り換えながら閲覧しているときに重宝する。



新機能が搭載されたWindowsメール

Windowsメール

標準のメールクライアントは、従来の「Outlook Express」から「Windowsメール」という名称に変更された。名称が変更されているだけで、基本的な使い方はあまり変わっていない。しかし、迷惑メールフィルタなどの新機能が搭載されている。



大幅に機能が強化されたマルチメディア系ソフト

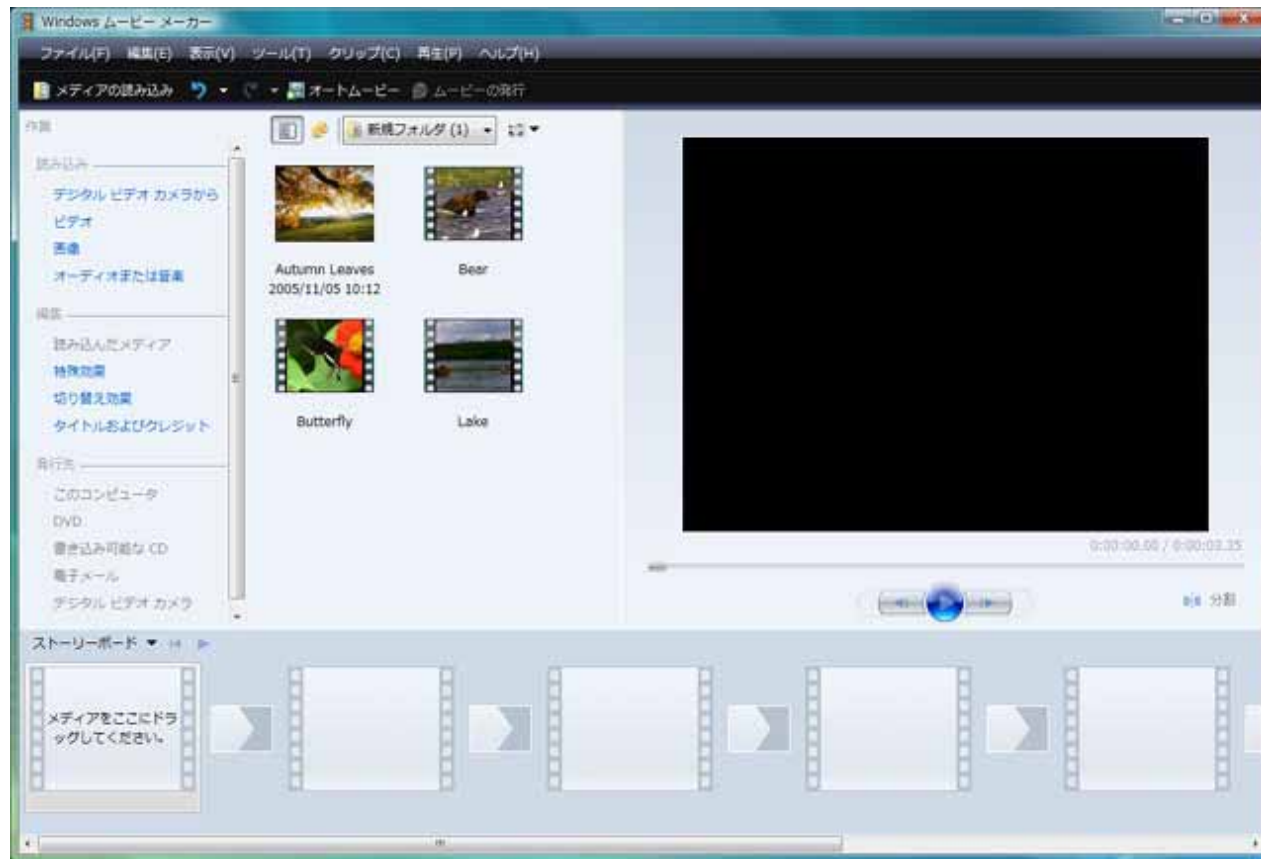
Windowsフォトギャラリー

写真やビデオの取り込み、整理、検索、編集が手軽にできる「Windowsフォトギャラリー」。写真の取り込み時に検索用のタグを設定したり、写真のトリミングや回転、赤目補正などの簡単な編集を行ったりできる。



Windowsムービー / DVDメーカー

Windowsムービーメーカーでは動画の編集を行える。DVDメーカーでは、写真や動画から簡単にDVD-Videoを作製できる。

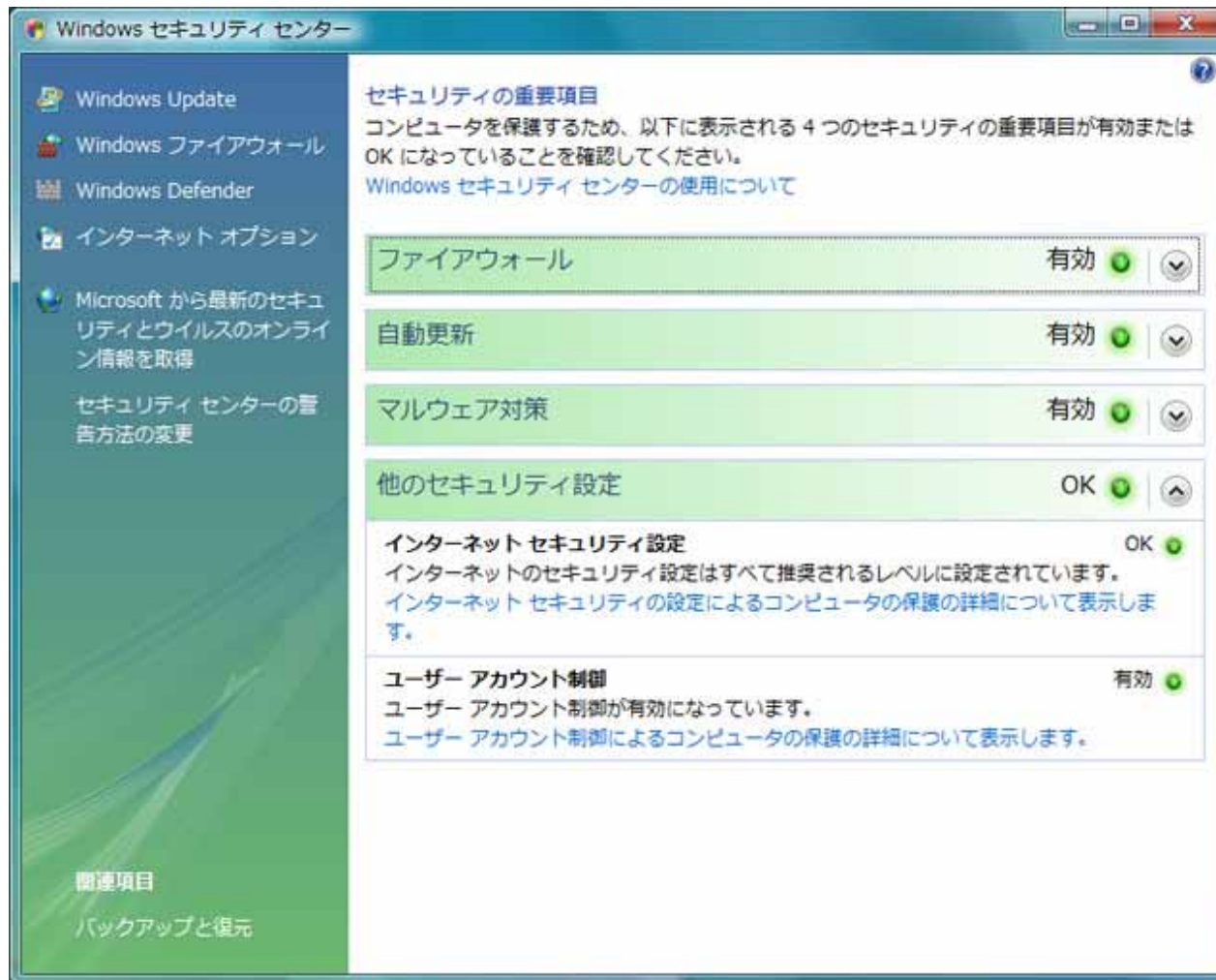


注意: 「Windowsムービー / DVDメーカー」はWindows Vistaのエディションのうち「Home Basic」、「Business」では利用できず、「Home Premium」または「Ultimate」でのみ利用できる。

さらに強化されたセキュリティ機能

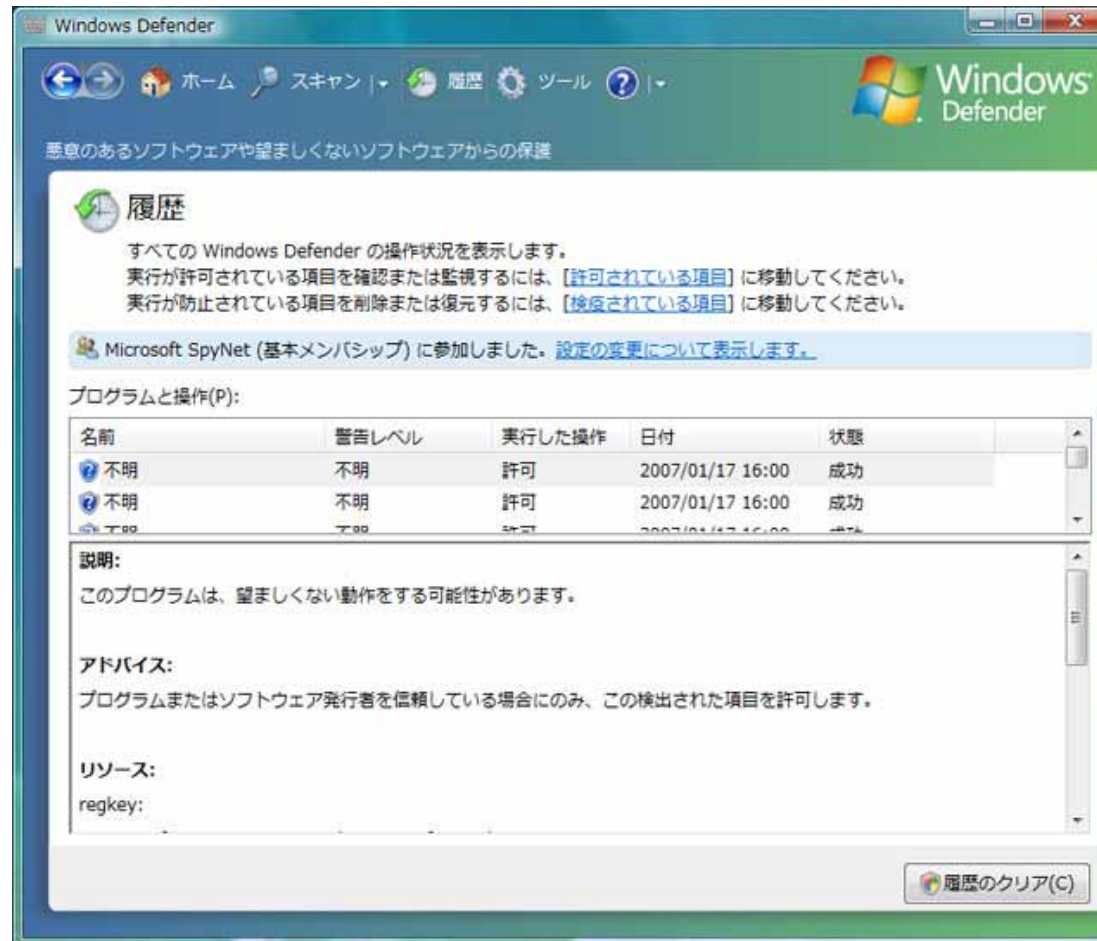
セキュリティセンター

XPでもおなじみのセキュリティセンター。XPでは「ウイルス対策」となっている項目が「マルウェア対策」に変更され、ウイルス対策に加えスパイウェア対策の状態も確認できるようになった。



Windows Defender (ディフェンダー)

Windows Defenderはマイクロソフトが開発したスパイウェア対策ツール。システムに常駐してスパイウェアの検出や侵入を阻止、また活動を未然に防ぐ機能を持つ。原理的にはウイルス対策ソフトと同じだが、スパイウェア系にしか対応しないことに注意。ウイルス対策ソフトは、別途サードパーティ製を使うよう推奨されている。



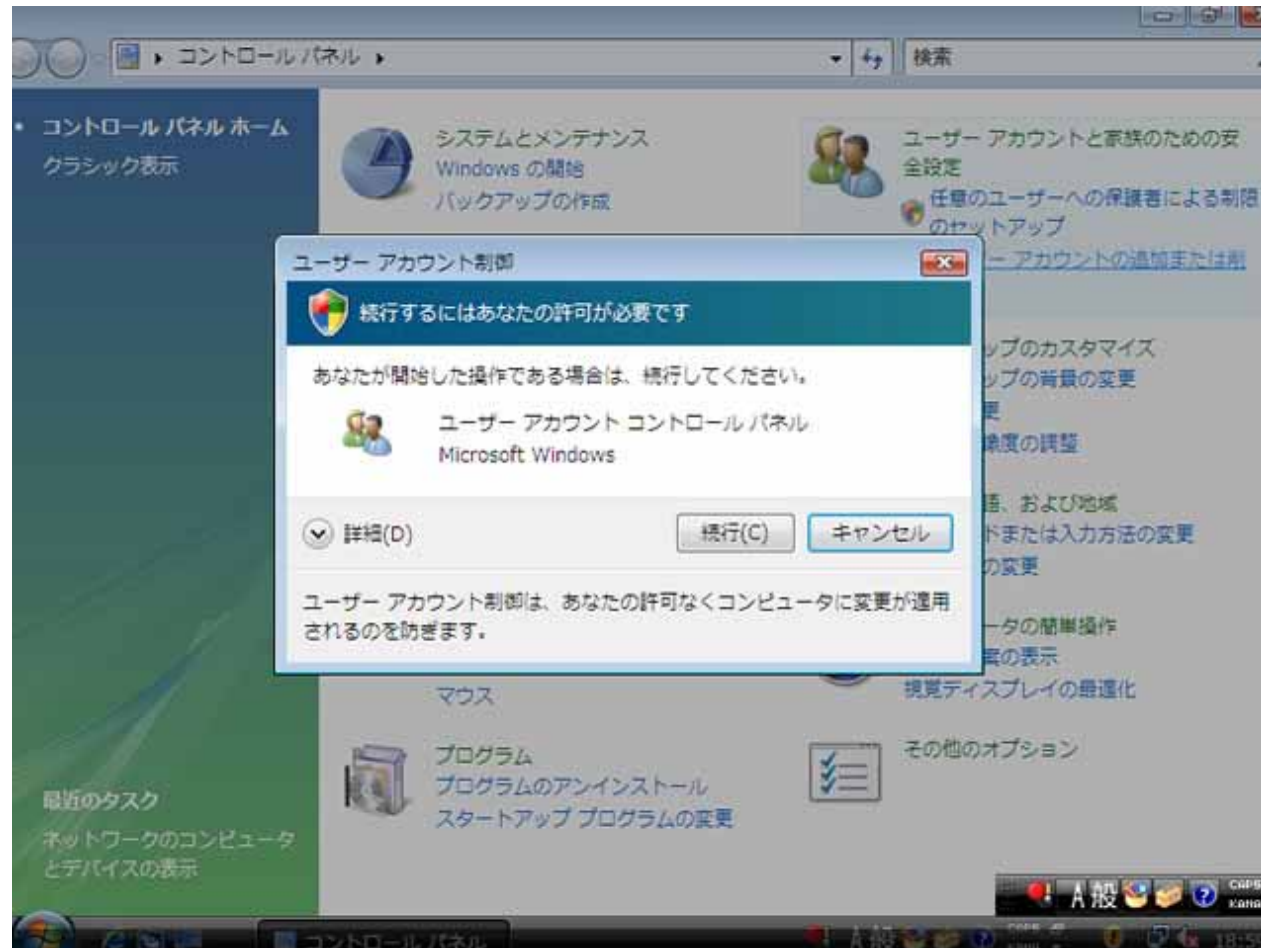
Windowsファイアウォール

Windows XPの標準ファイアウォールは外部からの攻撃は遮断してくれるファイアウォールだった。この種のファイアウォールは、外部からの攻撃には対応できるが内部からの攻撃(たとえばスパイウェアが密かに自分の情報を第三者に送る攻撃)には対応できない。そこでWindows Vistaでは内部からの通信を検査し、必要に応じて遮断を行う機能が追加されている。



ユーザーアカウント制限(UAC)

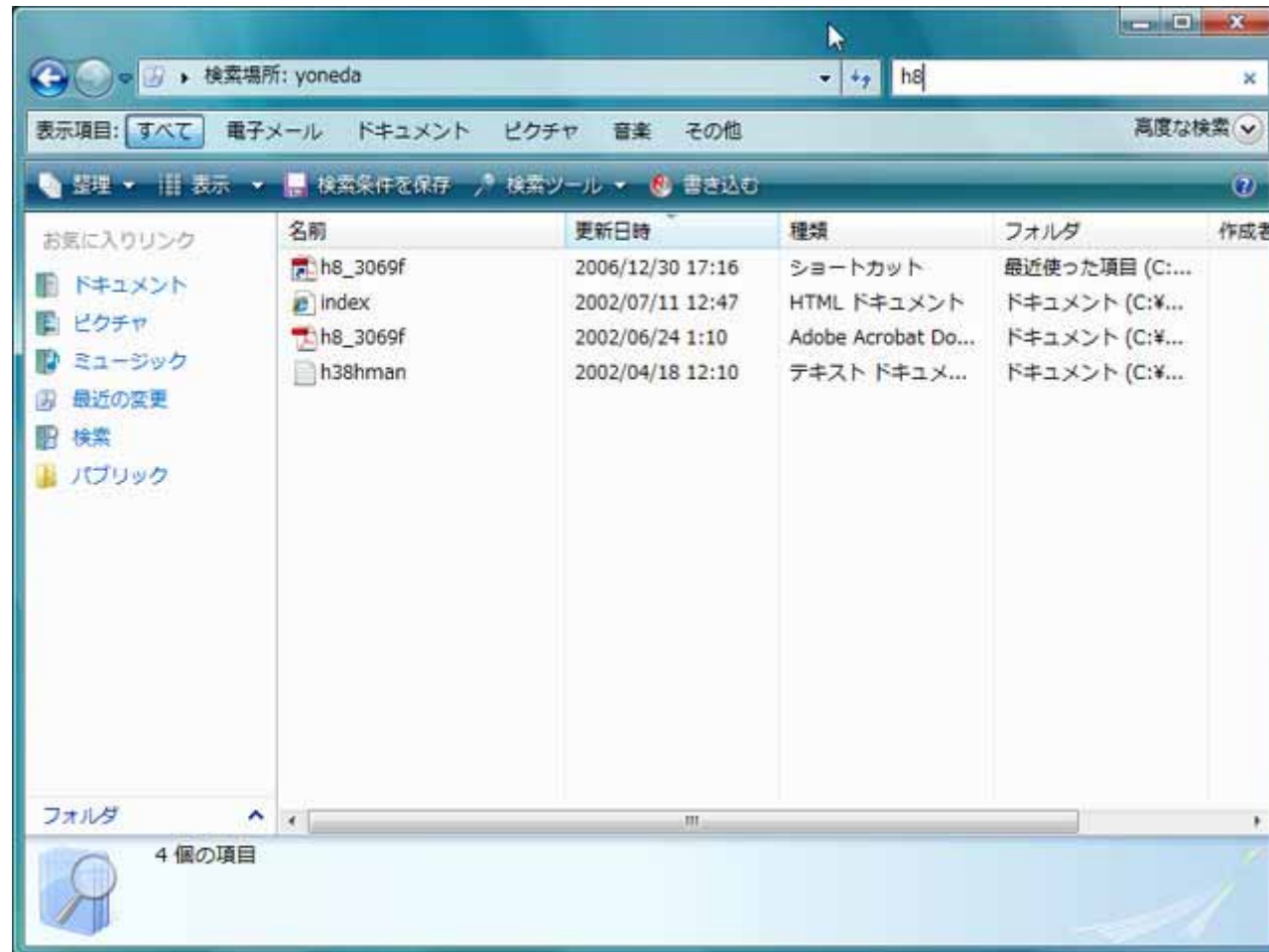
Windows Vistaでは管理者権限が必要な操作を行う際には確認のダイアログが現れる。Windows XPまでは利用者が管理者権限でログオンしてあらゆる操作を行っていたが、これがシステムに悪質なスパイウェアや不安定なドライバなどを容易にインストールしてしまう大きな原因になっていた。いちいちダイアログで警告されるのは面倒だが、確認のダイアログが現れることで危険な設定などを未然に防ぐ効果が期待できる。



便利になった検索機能

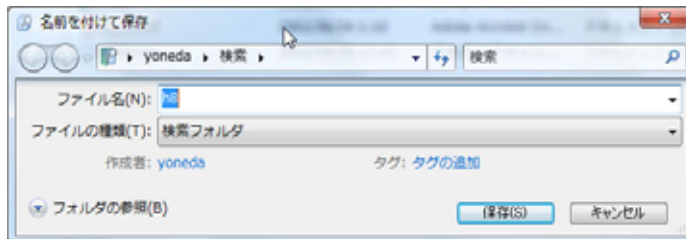
クイック検索

Windows Vistaでは、検索機能が大幅に強化されている。スタートメニューやファイルエクスプローラなど、あらゆる場所に検索ボックスが用意されており、目的のデータをすぐ探し出せるようになっている。このクイック検索に、探したいドキュメントのファイル名を入力すると該当するファイルが検索され一覧表示される。

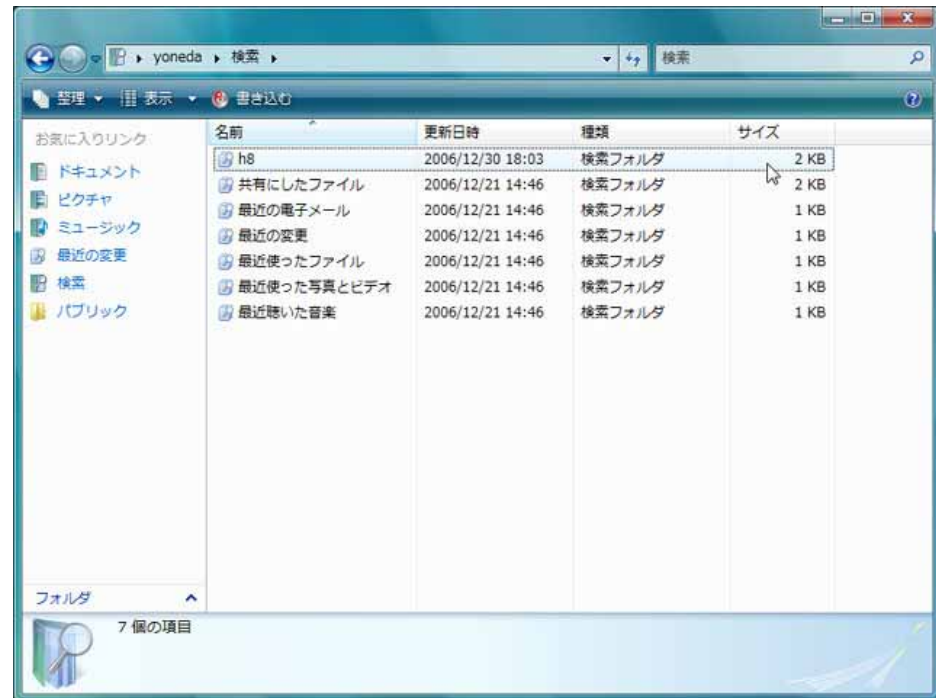


検索条件の保存

クイック検索や高度な検索でファイルを抽出した結果をコマンドバーの「検索条件を保存」で保存する。すると、検索フォルダ内にフォルダが作成され、そのフォルダ内で検索にヒットしたファイルを参照できるようになる。



h8で検索した結果を保存する。

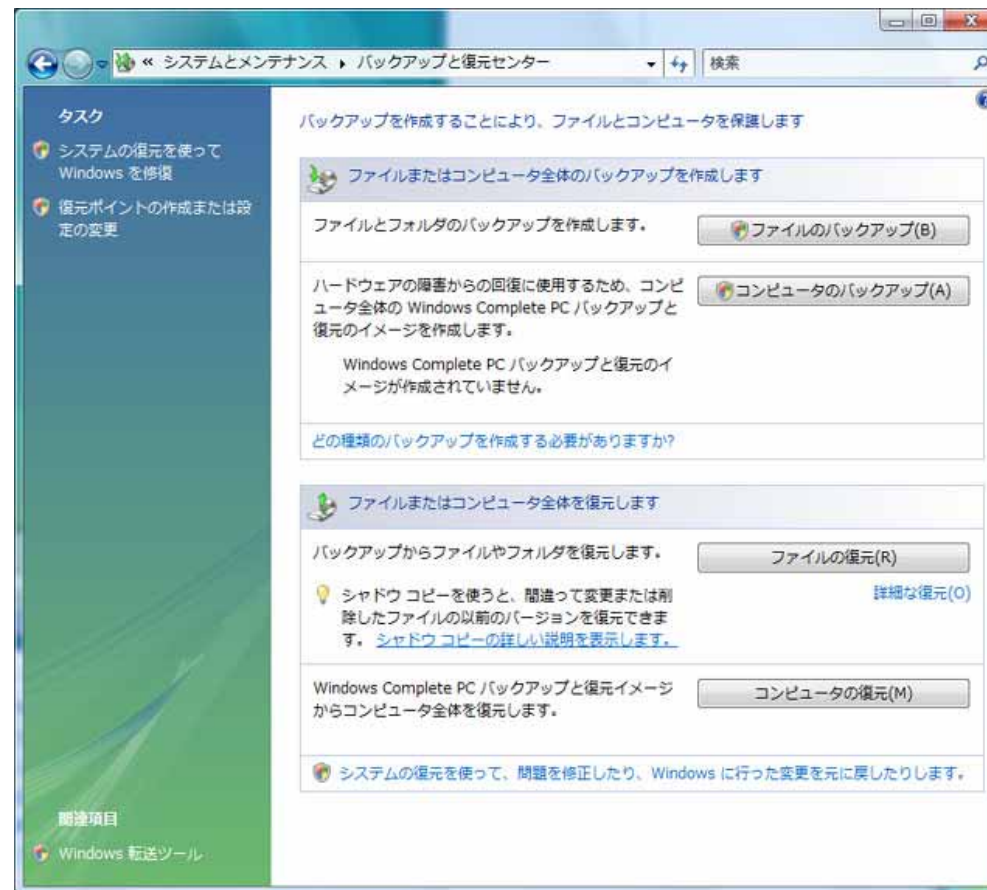


検索フォルダ内にh8というフォルダが作成され、その中でヒットしたファイルを参照できる。

より高機能になったバックアップ機能

バックアップと復元センター

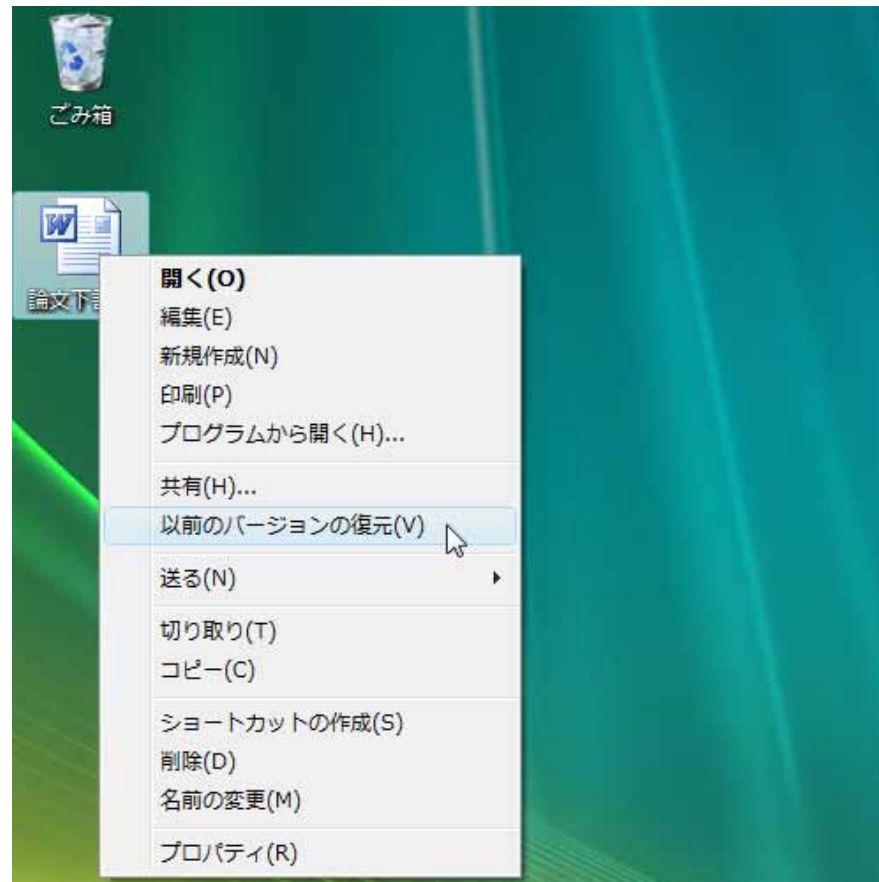
「バックアップと復元センター」では、Windowsのフルバックアップとその復元ができる。この機能を使うとWindowsのクラッシュや再インストールなどで失われた設定やアプリケーションの状態、ファイルなど全てを簡単に復旧できる。



注意: 「バックアップと復元センター」はWindows Vistaのエディションのうち“Home Basic”、“Home Premium”では利用できず、“Business”または“Ultimate”でのみ利用できる。

シャドウコピー

Windows XPではネットワーク経由でファイルを削除したり、異なる内容で上書きしてしまうと、元に戻すことはできなかった。しかしWindows Vistaでは、ファイルの世代別バックアップ機能「シャドウコピー」を搭載しており、エクスプローラなどの右クリックメニューから、ファイルを復元できる。



注意：「シャドウコピー」はWindows Vistaのエディションのうち“Home Basic”、“Home Premium”では利用できず、“Business”または“Ultimate”でのみ利用できる。

古いパソコンからファイルや設定を転送

Windows 転送ツール

Windows 転送ツールを使うと、Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista に保存されているファイルと各種設定を、Windows Vista が動作しているパソコンに簡単に転送することができます。Windows 転送ツールを使って自動的に転送できるデータは以下の通り。

1. ユーザー アカウント
2. ファイルおよびフォルダ
3. 電子メールのメッセージ、設定、および連絡先
4. 写真、音楽、およびビデオ
5. Windows 設定
6. プログラムのデータ ファイルと設定
7. インターネット設定

Windows 転送ツールを使って 2 台の PC を接続しデータを転送するには、以下の方法がある。

1. 転送ツール ケーブル(特殊な USB ケーブル)を使用する
2. ホーム ネットワークを使用する
3. 外付けハードドライブを使用する
4. CD または DVD を使用する

Vista乗り換え後の注意点

Windows Vistaでは「シャットダウン」でなく「スリープ」

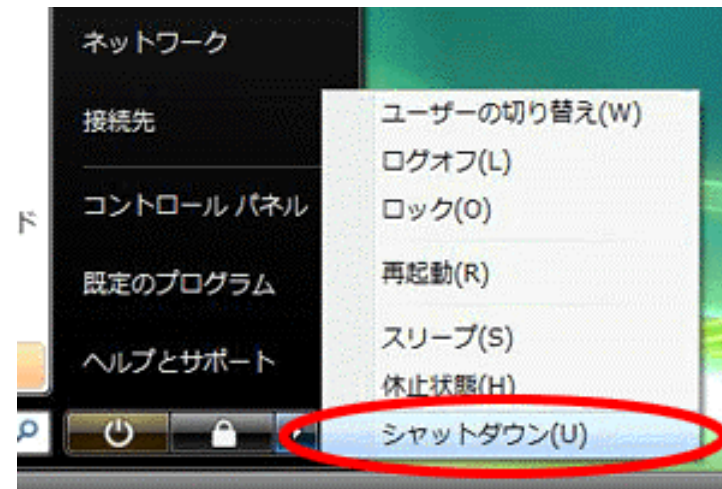
これまでのWindowsでは、パソコンを終了するときには完全に電源を切る「シャットダウン」を行っていた。シャットダウンをすると次回にパソコンを起動するときには数分程度の時間が必要で、わずらわしく感じられることも多くあった。Windows Vistaでは、スタートメニューの従来「終了」があった位置に「スリープ」のアイコンがあり、「シャットダウン」などはサブメニューになっている。「スリープ」で終了すると、次回の起動は数秒。Windows Vistaパソコンでは「スリープ」でパソコンを終了するのが基本となる。



パソコンをスリープ状態にしておく場合は、一番左の電源ボタンをクリックする。しかしスリープは、パソコンの電源が入っている状態のままなので、マウスを動かしたり、キーボードを叩いたりするとパソコンが起動する。



スリープではなく、きちんとパソコンの電源を切って終了させてしまいたい場合は、一番右のボタンを押す。



メニューが表示されるので、その中から「シャットダウン」を選択する。選択すると、シャットダウンの作業が行われ、パソコンの電源が切れる。この場合は、完全に電源が切れるので、再度起動させたい場合は、パソコン本体の電源スイッチを押さなければならない。

既存ソフトウェアのVistaでの動作チェック

XPで動作しているソフトウェアがVistaでも動作するとは限りません。

有志によるソフトウェアの動作チェック結果が
<http://windowsvista.ms/index.php?soft>
にアップされています。

日々更新されて、一般的に使われるほとんどのソフトウェアについて報告がされています。
x86の列に“ ”がついているものは、Vistaで動作することを示しています。

手持ちのパソコンをVistaへアップグレードする 場合の注意点

アップグレード対応

アップグレード対象製品	Windows Vista Home Basic	Windows Vista Home Premium	Windows Vista Business	Windows Vista Ultimate
Windows XP Home Edition (SP2)	○	○	○	○
Windows XP Professional (SP2)	△	△	○	○
Windows XP Media Center Edition (SP2)	△	○	△	○
Windows XP Tablet PC Edition (SP2)	△	△	○	○
Windows XP Professional x64 Edition	△	△	△	△
Windows 2000 Professional (SP4)	△	△	△	△
Windows Vista Home Basic	-	○	○	○
Windows Vista Home Premium	△	-	△	○
Windows Vista Business	△	△	-	○
Windows Ultimate	△	△	△	-

○:アップグレード、新規インストール(クリーン インストール)の両方が可能。

△:現在お使いのファイルや個人設定を保持しながら OS を Windows Vista に置き換えることができます。

△:新規インストール(クリーン インストール)のみ可能。

△:現在お使いの設定は保持されません。新規インストールを行う際に HDD をフォーマットするとファイルやお気に入りなどの設定は全て消去されますので、必要なデータや設定をあらかじめバックアップしてからインストールしてください。

今使っているXPをVistaにできるの？

市販の雑誌やマイクロソフトのホームページ等で、今使っているXPを簡単にVistaにアップグレードできる記事を見かけるけど本当にできるの？

まず皆さんの今使っているパソコンのスペックをチェックして下さい。

以下にVistaの推奨システム条件を示します。

CPU :動作クロックが1GHz以上

物理メモリ :1GB以上

ハードディスク:少なくとも15GB以上の空き容量があること

グラフィック :DirectX 9をサポートし、グラフィックメモリが128MB以上

皆さんのパソコンはこのスペックを満たしていますか？たぶん満たしている人は少ないと思います。

なぜなら、このパソコンスペックは2006年春モデル以降だからです。2006年春モデル以降でも10万円以下の廉価パソコンはグラフィックの性能を満たしていない可能性が大です。

上記スペックを満たしたパソコンを持っている方はアップグレードができます。

今使っているXPをVistaにできるの？

次にアップグレードの手順を簡単に説明します。

1. メーカーのホームページで自分のパソコンがアップグレード可能かどうか調べる。
2. アップグレード可能ならメーカーのホームページから手順書、アップグレードモジュールをダウンロードする。
3. 周辺機器(プリンタ、無線LAN等)、市販ソフト(ウイルスバスター等)のアップデートをダウンロードする。
4. 「転送ツール」を使ってユーザアカウント、プログラムの設定、インターネットの設定、電子メールの設定などをCD、DVD、ハードディスクにバックアップする。
5. アップグレード版Vistaをインストールする。
6. メーカーのアップデートモジュールをインストールする。
7. 周辺機器(プリンタ、無線LAN等)、市販ソフト(ウイルスバスター等)のアップデートをインストールする。
8. 「転送ツール」を使ってユーザアカウント、プログラムの設定、インターネットの設定、電子メールの設定などをCD、DVD、ハードディスクから書き戻す。

簡単にアップグレードの手順を説明しましたが、たぶんすんなりとアップグレードすることはできないと思います。

その理由は、アップグレードの途中で周辺機器ドライバの削除や更新、市販ソフトの削除や更新を必要なだけ求められるからです。

それに対応するため、アップグレードするパソコンとは別にインターネットに接続されているパソコンがもう一台あることが必須といえます。

今使っているXPをVistaにできるの？

具体的な例として2006年冬モデルのLet's Noteのアップグレード手順を示します。

順序	作業内容	作業中のOS環境
Step 1	アップグレードに必要なものの準備	Windows XP
Step 2	重要なデータのバックアップ	Windows XP
Step 3	アップグレードキットのダウンロードとHDDへの展開	Windows XP
Step 4	BIOSのアップデート	Windows XP
Step 5	Windows XPアプリケーションのアンインストール	Windows XP
Step 6	Windows Vistaへのアップグレード	Windows XP → Windows Vista
Step 7	Windows Vista修正モジュールのインストール	Windows Vista
Step 8	Windows Vista対応ドライバーのインストール	Windows Vista
Step 9	Windows Updateの実行	Windows Vista
Step10	Windows Vista対応アプリケーションのインストール	Windows Vista

2006年冬モデルのパソコンでもこれだけの作業が必要です。

Windows Me Windows XP、Windows 2000 Windows XPではアップグレード版のWindows XPを買ってきて、簡単にアップグレードできたと思います。でも、Windows XP Windows Vistaのアップグレードは簡単にはいきません。

XPとVistaは見た目以上に、Windowsの内部構造が大きく違っているのがその理由です。

今使っているXPをVistaにできるの？

結論として...

パソコンやWindowsにかなり精通した方以外は、XPからVistaへのアップグレードはやめるべきだと思います。

もし失敗すると、XPもVistaも使えなくなる可能性があるからです。

Vistaを使うなら、Vista搭載パソコンを新たに購入することをお勧めします。2月の登場時には高かったVista搭載モデルも今はかなり安くなっています。今買うなら2007年春モデルを、年末に買うなら2007夏モデルを安く買うのが良いと思います。

ご聴講ありがとうございました。